

ギャップおじさん TRPG
ランク0シナリオ



《I'm another XXX》

シナリオ名

《I'm another XXX》

【シナリオスペック】

PL人数：1人(ソロ専用)

脅威ランク：0(経験点10(スキル4つ+闇0))

シナリオタイプ：帰還型、超人型

【採用追加ルール】

スキルルール

【今回予告】

この世界の自分へ

わかっていた、はずだった。
必死に守ってきた日常。
それを自分は失ったのだと。
周りに迷惑をかけないために。
そうして自分は闇に堕ちた。

そんな中で自分は平行世界を発見した。
そこには全てが残っていた。
だから悪く思わないでほしい。

貴方から貴方の光をいただかせてもらおう。

平行世界の自分より

【ストーリー】

PCがいつものように日常を暮らしている場面から始まります。(拠所フェイズからつなげるように描写してください)

そこにボロボロのPCがやってきます。

彼(彼女)が拠所を取り戻すために平行世界のPCから拠所を奪おうとしてきます。

それをどうにかするのが今回のシナリオです。

【異音フェイズ】

※文章中の貴方は PC のことを指します

いつもの場所、いつもの日常、貴方が守り続けるもの。

そうしていつものように暮らしていた。

そこに誰かが近づいてくる。その人物の正体に貴方は驚愕する。

それは貴方だった。なにか戦いに巻き込まれたのかボロボロだがそれは紛れもなく貴方であつた。(再起判定を行う、※強靱を使用すること)

ボロボロの貴方は貴方にこう語る。

「自分は、全てを失った」

「大切な人、大切な場所、大切な時間、その全てを」

「この世界にはまだそれが残っていた」

そのようなことを言い彼は

「だから、自分から奪うまでだ」

と言うやいなや貴方に向かって襲って来る。

———どうかしなければ、貴方の日常は壊れ去るだろう。

【狂騒フェイズ】

場面としては驚異(平行世界の PC)と対面している状況となります

そのため PC は各サイクルの最初に決戦フェイズまで飛ばす事を選択できます。

驚異は全てのサイクルにおいて拠所の破壊を試みます。

【驚異情報】

驚異:平行世界の自分

異能特技:PC のキャラクターシートにかかっている異能特技 6 つ

スキル:PC のキャラクターシートに書かれているスキル 4 つ

もしくは『罪業』『古強者』『※強靱』『※連続行動』

PL もしくは GM がサプリメント陰謀を持っていない場合、もしくは難易度が高いと判断した場合『罪業』を『※英雄』に変更しても構いません

このシナリオの目的は「平行世界の自分を倒す」もしくは「平行世界の自分を諦めさせる」ことです

なお、今回のシナリオの和解条件は「PC が拠所を諦めること」です。

この条件で和解した場合は、それなりのペナルティを与えても構いません。

表紙は [annca](#) による [Pixabay](#) からの画像を加工して使用しています

タイトル：I'm another XXX

作者：雪桜タワー

講評：

並行世界の自分と対峙するという、なかなか引き込まれるランク 0 シナリオです。決戦だけを見据えた作りは秀逸で、ワンアイデアで魅力を出す技量はなかなかのものです。

ただし、それは読み物とした場合です。

実際にシナリオを回すことを考えると、初期作成 PC の並行世界を回すというのは GM の力量が問われます。また、並行世界の PC が世界を渡り、拠所を奪いにくるという展開については、PL 次第ですがキャラの解釈違いを起こす可能性もあり、回す相手を選ぶ危険性もあるでしょう。決着時の結末についても「どちらかが必ず諦めなければならない」という展開は、PL の作った PC が（片方は NPC とはいえ）必ずどちらかが不幸にならなければならない、ということの裏返しにもなります。勝っても負けても自分の PC が不幸になる、と言う展開は、

まあ鬱展開が大好きな人が喜ぶと思うのでコンテスト参加者のたこなすさん辺りに回すといいと思います。